

『聖母に捧げられた教会での特別な祈り』

日 時 2023年5月31日(水) 10:00～
場 所 北の国の聖母 カトリック北26条教会
司 式 勝谷 太治司教

- 内 容
- ・特別な祈りに対する趣旨説明
 - ① シノドスの歩みのために
 - ② 聖母の保護を求めて
 - ③ 教会で様々な召命に生きる人々の参加を包摂するために
 - ・ロザリオの祈り 1環
 - ・聖母(聖母訪問の祝日)に捧げるミサ

*経緯

2023年2月28日付書簡にて、教皇庁シノドス事務局より各国司教協議会会長あてに、2023年5月31日(水)に聖母月の締めくくりと第16回シノドスの準備として、司教協議会の裁量で、各国の聖母にささげられた教会で特別な祈りの時をもつ催しを行ってほしいと依頼が届きました。

日本においては3月9日に開催された常任司教委員会において検討され、各教区内の聖母に捧げられた教会から選び、祈りの企画を行うこととなりました。

*参考

【札幌教区内の聖母(または聖母関連)に捧げられた教会】

札幌地区	： 江別(雪の聖母)	小樽(聖母の汚れなきみころ)
	北26条(北の国の聖母)	真駒内(聖母の汚れなきみ心)
	倶知安(暁の星の聖母)	新田(聖母の汚れなきみ心)
	花川(被昇天の聖母)	
旭川地区	： 旭川五条(被昇天の聖母)	旭川六条(被昇天の聖母)
	枝幸(海の星の聖母)	砂川(平和の元后)
函館地区	： 元町(被昇天の聖母)	
釧路地区	： 釧路(無原罪の聖母)	厚岸(海の星の聖母)
	中標津(イエスとマリアのみ心)	
苫小牧地区	： 苫小牧(無原罪の聖母)	伊達(ルルドの聖母)

北見地区　：紋別（海の星の聖母）

*目的

（シノドス事務局次官　ルイス・マリン・デ・サン・マルティン司教　より）

この特別な祈りは、シノドスの歩みのための祈りであり、神の民が、現在進行中のこの歩みの重要性に気づき、信者たちがこの歩みに祈りをもってともに歩むよう促すことにあります。また、教会によるシノドスの歩み全体、とりわけ、シノドス総会の働きを、わたしたちの聖母による特別な保護のうちに置くためにも必要となります。

教会における様々な召命（信徒の生活、司祭生活、奉獻生活）の人々が、個々の使命に気づき協力していくための力をいただきます。聖母に奉獻された聖堂での祈りによって、人々の信心の活力とすばらしさを表し、濃密な時になることを願います。

ミサ式次第（聖母の訪問の祝日）

○ 入祭の歌　典礼聖歌388　「ガリラヤの風かおる丘で」1・2番

○ 栄光の賛歌　※唱える

○ 集会祈願

永遠の父よ、あなたのひとり子を宿したおとめマリアは、聖霊に導かれてエリザベトを訪れました。わたしたちも聖霊のすすめに従い、聖母とともに、いつも賛美の歌を歌うことができますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々としえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって、アーメン。

○ 第一朗読　使徒パウロのローマの教会への手紙　（ローマ12・9 - 16b）

〔皆さん、〕愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れたものと思いなさい。怠らず励み、霊に燃えて、主に使えなさい。希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。聖なる者たちの貧しさを自分のものとして彼らを助け、旅人をもてなすよう努めなさい。あなたがたを迫害する者のために祝福を祈りなさい。祝福を祈るのであって、呪ってはなりません。喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。

○ 答唱詩編　典礼聖歌164①③（イザヤ 12・2,5）

【答】 喜びに心はずませ、救いの泉から水をくむ。

神はわたしの救い、わたしは信頼して恐れない。

神はわたしの力、わたしの歌、わたしの救い。【答】

神は不思議なわざを成しとげられた。

神をほめ歌い、そのわざを世界にのべ伝えよう。【答】

○ **アレルヤ唱** 典礼聖歌276 (聖マリアの訪問 ルカ 1・45 参照)

アレルヤ、アレルヤ。

おとめマリア、信じたあなたは幸い。神からあなたに言われたことは成就される。
アレルヤ、アレルヤ。

○ **福音朗読** ルカによる福音 (ルカ 1・39-56)

そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶した。マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。

「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょう。」そこで、マリアは言った。

「わたしの魂は主をあがめ、

わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。

身分の低い、この主のはしためにも 目を留めてくださったからです。

今から後、いつの世の人も わたしを幸いな者と言うでしょう、

力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。

その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、

主を畏れる者に及びます。

主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、

権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、

飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。

その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、

わたしたちの先祖におっしゃったとおり、

アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」

マリアは、三か月ほどエリサベトのところに滞在してから、自分の家に帰った。

○ **奉納祈願**

いつくしみ深い父よ、あなたは、聖母マリアのエリザベト訪問を祝福されました。わたしたちのささげものを祝福し、救いをもたらすものとしてください。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

○ **叙唱** 聖母マリア二

○ **拝領の歌** 典礼聖歌387 「神はキリストのうちに」 1・2・3番

○ **拝領祈願**

聖なる父よ、あなたは、信じる者に偉大なわざを行われます。救い主の母の訪問を受け、エリザベトは喜びに満たされました。秘跡を通して主を迎えたわたしたちも、喜びにあふれてあなたの偉大なわざをたたえることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

閉祭の歌 典礼聖歌396 「救いの道を」 1・2・3番